

## 強制動員真相究明ネットワーク・宇部集会&

### 長生炭鉱フィールドワーク

飛田雄一

(『むくげ通信』269号、2015.3.29)

3月21日第8回の強制動員真相究明ネットワーク全国研究集会が宇部市で開かれた。参加者は100名だった。ネットワークは、2005年7月に韓国の日帝強占下強制動員被害真相究明委員会(当時)の発足を受けて日本の市民グループが立ち上げたものだ。韓国が政府の委員会を立ち上げたので日本政府もそのようにすべきであったが、その動きがみられない中で市民サイドで立ちあげたのである。共同代表は、内海愛子さん、上杉聰さんと私の3名である。

毎年3月に研究集会を開いている。2012年、13年は東京大学で、2014年は立命館大学で、今年は長生炭鉱の「水非常を歴史に刻む会」が受け入れ団体となって宇部市でネットワークと共に開催された。会場は山口県宇部市文化会館、同会が2011年9月25日、ここで加藤登紀子さんを招いてチャリティーコンサートを開いたとき私も連れ合いと参加した。山口県周防大島におられる学生センターの前理事長・辻建牧師訪問も兼ねてやってきたのである。



今回の集会テーマは、「強制連行問題をどう終わらせるか」。集会では以下のような報告が行われた。

(1)現地報告 小畠太作さん(長生炭鉱の水非常を歴史に刻む会事務局長)

(2)遺骨問題についての報告 具志堅隆松さん(沖縄戦遺骨収集ボランティア「ガマフヤー」代表.)

(3)地域と強制連行の掘り起しー報告と質疑

①山口地域 鄭祐宗さん(大谷大学)

②九州地域 広瀬貞三さん(福岡大学)

③広島地域 内海隆男さん(広島の強制連行を調査する会)

(4)「強制連行無かった論」を考えるー報告と質疑ー

①外村大さん(東京大学)

②渡辺美奈さん(アクティブ・ミュージアム 女たちの戦争と平和資料館(wam)事務局長)

③高野眞幸さん(奈良県での朝鮮人強制連行等に関わる資料を発掘する会)

私はいつもながら開会あいさつと司会の役割である。多くの報告があるのでタイムキーパーが主な役割だ。よく集会で前半の報告が長引き、後半の報告の時間が短くなるというのがあるが、それが許せない私は、びしひしと(?)やるのである。(エクセルで時間割をつくる方法をご存じですか? 今回のような集会のときには重宝します。サンプル希望者は飛田まで。)

当日、(1)宇部炭田での朝鮮人強制連行・竹内康人、(2)強制動員現存企業(日本地域)・韓国強制動員被害調査・支援委員会、(3)強制連行等追悼碑・慰靈碑・記念碑・説明版リスト(最終版)・須磨明も含めた資料集が作られた。いま資料集を改訂した報告書を作成中である。購入希望者は、郵便振替<00930-9-297182 真相究明ネット>に代金800円+送料164円=964円をご送金ください。

集会後の懇親会ももちろん時間いっぱいまでおおいに盛り上がった。



翌日はフィールドワークで、朝8時半にJR宇部線宇部新川駅を出発した。大型貸し切りバス満員の

参加者だ。刻む会の内岡貞雄さんの説明を聞きながら長生炭鉱跡の西岐波海岸に向かった。最初に2013年2月2日に除幕した追悼碑を訪ねた。土地も刻む会が購入して建立した立派なモニュメントだ。183名の犠牲者（内朝鮮人137名）の名前が書かれた木版がはめ込まれている。熱心な調査が進められているが、まだ創氏名（日本名）しか分からぬ方がおられるからである。本名が判明すれば書きかえられることになっている。



証言する全錫虎さん／西光寺にある位牌（この日だけ新浦会館に移していただいた）

その後、新浦会館に会場を移して韓国大邱からお招きした事故で死亡した全聖道さんの遺族・全錫虎さんのお話をうかがった。全聖道さんの遺骨はまだ海底炭鉱に残されている。1932年1月生まれの全錫虎さんは事故当時小学校5年生で宇部に家族とともに生活していた。事故の日には学校の運動場からクジラが潮を吹くように海水があがったのを見ている。事故後、補償もなく社宅も追い出され大変な生活をされたようだ。

追悼碑から長生炭鉱関連施設跡を順次フィールドドロークした。選炭場、宿舎、火葬場、巻上機、倉庫、事務所、坑口などなど。いずれも当時のものはほとんど無くなっているが、刻む会は調査によりほぼその場所を突き止め当時の配置図をつくっている。

最後に2本の「ピーア」（排気・排水筒）が海上に見える海岸に着いた。手前のピーアまで海岸から100M、更に2本目のピーアまで195Mある。海底炭鉱は更に1キロ以上先まで続いている。事故は沖合1キロ付近で起きたが、事故で無くなった183名の遺体は現在も回収されないのでその海底に眠っているのである。

刻む会は1992年以来、毎年、事故の日にあわせて、韓国から遺族を招いて追悼集会を開いている。慰靈碑の建立を実現したのちも、海底坑道に放置されたままの遺体を回収することを目指して活動を継続している。遺族招請等活動のための寄附金も募集している。ご協力をお願いしたい。会の連絡先は、755-0031 山口県宇部市常盤町 1-1-9 宇部緑橋教会内 TEL/FAX0836-21-8003

<http://chouseitankou.com> ↓ ピーアの前で記念撮影



